



令和3年度 市の決算と財政状況

各会計決算と主な取り組み

決算は9月5日から開会の市議会定例会で審議されています。水道事業会計と下水道事業会計の令和3年度決算は6頁でお知らせします。

問い合わせ 財政課（市庁舎5階、☎65・4106）

一般会計の収支

令和3年度の決算額は、歳入が960億9850万円、歳出が937億5160万円、差引額が23億4690万円でした。（図1）

歳入の状況

歳入全体では約70億7000万円の減少となりました。令和2年度と比較して、地方交付税などが増加した一方、国庫支出金などが減少しました。

歳出の状況

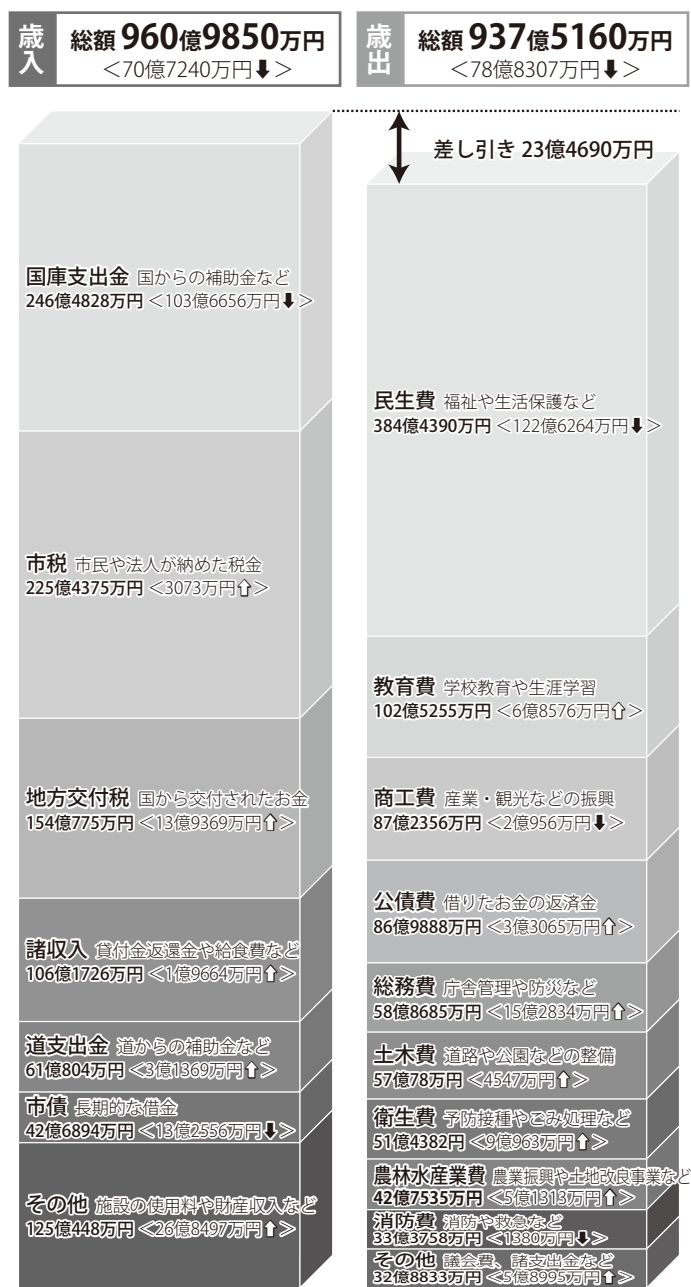
歳出全体では約78億8000万円の減少となりました。令和2年度と比較して、衛生費や教育費などが増加した一方で、民生費などが減少しました。

この差引額には、令和3年度中に事業が完了しなかったことから、令和4年度に繰り越した事業の財源9059万円も含まれています。これを除く実質的な黒字額は22億5631万円でした。（表）

また、国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対策に係る特別定額給付金給付費の減少などによ

り、約103億7000万円減少しました。衛生費は、新型コロナウイルス予防接種費の増加などにより約9億1000万円増加したほか、教育費も、大空学園義務教育学校の整備などにより約6億9000万

図1 一般会計の歳入・歳出



※<>は前年比。歳出の各項目には、関係する職員の給与費を含めています。

表 一般会計と特別会計の決算

会計区分	歳入	歳出	翌年度繰越事業財源	実質収支
一般会計	960億9850万円	937億5160万円	9059万円	22億5631万円
特別会計				
国民健康保険会計	158億6523万円	157億7082万円	-	9441万円
後期高齢者医療会計	26億3354万円	25億3995万円	-	9359万円
介護保険会計	163億1762万円	158億2252万円	-	4億9510万円
中島霊園事業会計	5390万円	5390万円	-	-
ばんえい競馬会計	535億9515万円	534億3994万円	-	1億5521万円
駐車場事業会計	3792万円	3792万円	-	-
合計	1846億186万円	1814億1665万円	9059万円	30億9462万円

特別会計の収支

市の会計には、一般会計のほか、国民健康保険会計や介護保険会計、ばんえい競馬会計など、全部で六つの特別会計があります。

特別会計は、利用者が負担する保険料や使用料などが主な財源であり、収入と支出の関係を明確にするため、一般会計と区分して経理を行っています。特別会計の決算額は、表のとおりです。

財政の指標

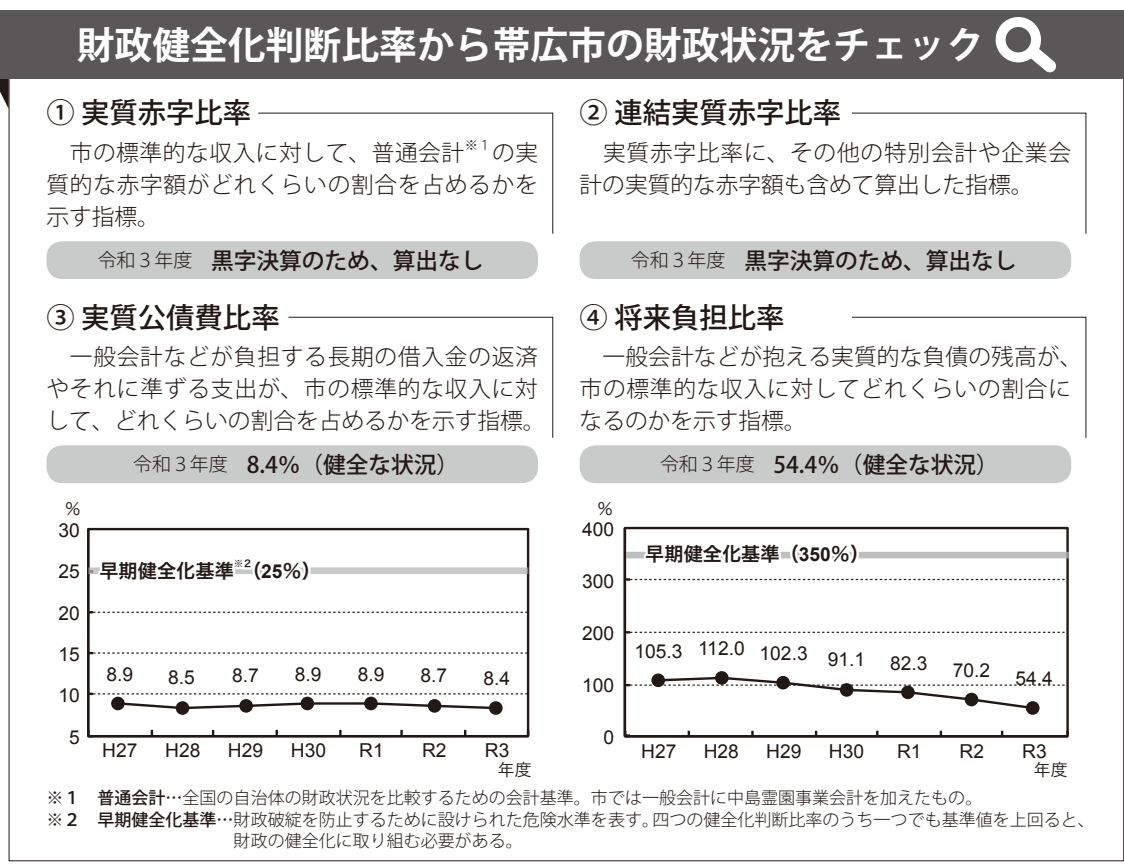
自治体財政の健全化を示す指標として、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の四つの健全化判断比率があります。（図2）

これからの帯広市の財政

帯広市の財政は、いずれも早期

健全化基準を下回っており、健全化判断比率などから見ても、健全な状況を維持しています。しかしながら、高齢化の進行に伴う社会保障費の増加のほか、公衆施設の老朽化や長期化する新型コロナウイルス感染症への対応が必要となるなど、今後も厳しい財政状況が続くことが予想されます。こうしたことを踏まえ、限られた財源のなかで、事業の選択と集中を図りながら、「フードバレーとかち」をはじめとする各種施策の推進に取り組む、将来に向けたまちづくりを進めていきます。

図2 財政健全化判断比率



10月は不正軽油防止強化月間です 北海道では、不正軽油撲滅に向けて関係機関と連携し、軽油の抜き取り調査などをさらに強化します。「不正軽油」の話を聞ききた時は連絡してください。 ☎不正軽油ストップ110番 (☎0800・8002・110)、十勝総合振興局課税課事業税間税係 (☎27・8510)

令和3年度に実施した主な事業

令和3年度に実施した主な事業の一部を「第七期総合計画」の体系および新型コロナウイルス感染症対策に分類して紹介します。

ともに支え合い、子どもも大人も健やかに暮らせるまち

- ▶ 障害者相談支援体制の拡充【1280万円】
- ▶ 緑ヶ丘保育所の0歳児室を整備【905万円】
- ▶ 後期高齢者脳ドック定員の拡大【131万円】
- ▶ 灯油価格高騰対策として生活弱者に対し給付金を給付【2037万円】 ーなど



緑ヶ丘保育所（0歳児室）

活力とにぎわいと挑戦があるまち

- ▶ 農業経営を継承した後継者に対する支援【2483万円】
- ▶ 森林環境譲与税を活用した森林整備の促進【1637万円】
- ▶ フードバレーとかち構想の推進（十勝の食の高付加価値化など）【531万円】
- ▶ とかち帯広空港の誘導路改良工事など【8億6305万円】

- ▶ 起業・創業支援の仕組みづくりの推進（十勝・イノベーション・エコシステム^{※3}）【4106万円】 ーなど

※3 十勝・イノベーション・エコシステム…地域の創業・起業を目指す人材が、新しい仕事づくりに挑戦するための持続的な仕組み。

ともに学び、輝く人を育むまち

- ▶ 学校図書資料や書架の拡充【5154万円】
- ▶ 大空学園義務教育学校の整備や学校施設の個別改修【21億4676万円】
- ▶ 百年記念館のデジタルコンテンツ化など、アイヌ文化とのふれあいゾーン形成【1529万円】
- ▶ 新たな遊具の導入などによる児童会館施設の機能拡充【999万円】
- ▶ アザラシ舎の改修など、動物園の魅力アップ【3176万円】 ーなど



児童会館（ボルダリングウォール）

安全・安心で快適に暮らせるまち

- ▶ 拠点備蓄倉庫の整備など地域防災力の強化【1億6273万円】
- ▶ 帯広川下水終末処理場の施設改修【3億8450万円】
- ▶ 消防車両（小型動力ポンプ付積載車）の更新【2723万円】
- ▶ 木製遊具などの公園施設の更新【4199万円】
- ▶ 大空団地4街区（丘）の実施設設計など公営住宅の整備【3億7832万円】 ーなど



小型動力ポンプ付積載車

新型コロナウイルス感染症対策

【感染予防・拡大防止策】

- ▶ 新型コロナウイルスワクチン接種の推進【11億3933万円】
- ▶ 高齢者施設などへのPCR検査受検費用等の支援【472万円】
- ▶ 児童保育施設などにおける衛生管理用品の購入支援【4375万円】
- ▶ 営業時間短縮などに協力する市内飲食店等へ支援金を支給【1億7518万円】
- ▶ 学校における感染症対策物品などの購入【5168万円】 ーなど

【生活対策】

- ▶ 子育て世帯に対する特別給付金の支給【25億1490万円】
- ▶ 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給【2942万円】
- ▶ 住民税非課税世帯などへの臨時特別給付金の支給【23億5180万円】
- ▶ 国の学生支援緊急給付金の対象とならない学生への給付金の支給【220万円】
- ▶ 感染症の影響による修学旅行の延期などに伴う取消料等を支援【712万円】 ーなど

【経済対策】

- ▶ 感染症の影響を受けている飲食業に対する支援金の支給【2億1991万円】
- ▶ ひがし北海道への観光客誘致に向けた宿泊施設などの割引支援や広告宣伝【1330万円】
- ▶ 地域における消費喚起を促進するプレミアム付商品券の発行【5億2251万円】
- ▶ 営業時間短縮要請などにより売上が大幅に減少した酒類販売事業者等への支援【430万円】 ーなど

【ポストコロナに向けた対応】

- ▶ 市税等の納付にキャッシュレス決済を導入【2299万円】
- ▶ 南商業高等学校における貸出用端末などの整備【272万円】
- ▶ ポロシリ自然公園のワーケーション利用などに向けたWi-Fi環境の整備【1595万円】
- ▶ 保育士・幼稚園教諭などの収入の引き上げ措置を実施【1941万円】 ーなど



南商業高等学校貸出用端末



ポロシリ自然公園でのワーケーション

令和4年度9月補正予算の主な事業

感染症の長期化や物価高騰などの影響を踏まえ、国・北海道の対策とのバランスや相乗効果を考慮し、生活対策と経済対策の両面から新たに予算計上しました。

新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策

【生活対策】

- ▶ 水道料金の基本料金を免除【4億3211万6000円】
物価高騰などの影響を受けている市民や事業者に対する支援として水道料金の基本料金を4カ月間免除
- ▶ 高齢者世帯等生活支援金の給付【2億5422万6000円】
低所得の高齢者世帯などに対して高齢者世帯等生活支援金を給付
- ▶ 暖房代支援給付金の給付【2850万円】
低所得の高齢者世帯やひとり親医療費受給世帯などに対して暖房代支援給付金を給付
- ▶ 保育施設などの給食材料費支援【220万円】
食材価格高騰による保護者負担が生じないための支援
- ▶ 学校の給食材料費支援【3206万1000円】
食材価格高騰による保護者負担が生じないための支援 ーなど

【経済対策】

- ▶ 事業継続緊急応援支援金の支給【2億7556万3000円】
物価高騰により影響を受けている事業者に対する北海道の支援金への市独自の上乗せ支援
- ▶ 生活交通路線への支援【2451万円】
感染症の影響などによる離職・採用難が深刻化している公共交通事業者の運転手確保に向けた取り組みなどを支援

